

ご入園、ご入学おめでとうございます。環境の変化で疲れやすくなる時期ですね。生活リズムを整えて、毎日元気に登園、登校できるようにしましょう。また、学校健診の時期でもありますので、返ってきた健診結果は必ず目を通し、必要であれば受診をしましょう。今回は2月号の続編『誰かに聞きたい、女の子の体』についてお話しします。

思春期っていつから？

体格による差が大きいですが、平均的には以下の年齢で思春期の体の変化が起こります。

【男児】	平均	早発症	【女児】	平均	早発症
精巣発育：	10歳9ヶ月	9歳	乳房発育：	10歳0ヶ月	7歳6ヶ月
陰毛発生：	12歳6ヶ月	10歳	陰毛発生：	11歳8ヶ月	8歳
声変わり：		11歳	月経発来：	12歳4ヶ月	10歳6ヶ月

おっぱいが膨らんできた

日常診療でも「胸が膨らんできた」「乳頭にしこりが触れる」という相談は多いです。年齢によって対応が変わるので、年齢別にお話ししていきましょう。

①新生児期(男女ともに)：一過性乳房腫大

胎児期に胎盤を通して母体から移行したエストロゲン(女性ホルモン)の影響。乳汁を分泌することもある。数ヶ月で自然消失する。

②小学6年生の男の子：生理的女性化乳房

思春期のホルモンバランスの影響。自然消失する。

③2歳以下の女の子：早発乳房 ※ほとんどが2歳以下(60-85%)だが6歳前後にも見られる。

乳房の腫大のみで、他の性早熟兆候(上記)がみられない。

数年で自然消失するが、他の性早熟兆候が出てこないか、定期受診が必要。

④7歳6ヶ月未満の女の子：思春期早発症の疑い

③の早発乳房との鑑別が必要になります。他の性早熟兆候がないか診察、血液検査が必要。思春期早発症であれば、進行を抑制する治療(4週間毎にホルモン注射)を行う。

【思春期早発症問題点】

同年代の子より思春期が早く来る。「体質」や「個性」として受診されていないお子さんが時々います。以下の問題点があるため、必ず受診しましょう。

①低身長：一時的に背が伸びるが、その分早く伸びが止まるため、最終身長が低くなる。

男児では160cm以下、女児では150cm以下となる場合もある。

②社会的問題：同級生と比べて体つきが大人っぽくなる、毛が生えるなど、着替えの場面での心理的不安が生じる。女児では生理用品の問題なども。

③まれに腫瘍性疾患あり：早発症の原因は「特発性」つまり「原因不明」が殆どだが、まれに脳腫瘍(男児に多い)や卵巣機能異常が原因であることがある。